

Common Workflow Language セミナー

バイオインフォマティクス分野において国際的に普及しているオープンソースのワークフローシステム、およびワークフロー記述言語である Common Workflow Language (CWL) のプロジェクトリーダーである Michael R. Crusoe さんにお越し頂き、CWL によって解決できるデータ解析の課題と、将来展望についてご講演頂きます。

日時

2023/07/05 (水) 16:30-17:30 (当日の都合により時間は前後することがあります)

場所

千葉大学 亥鼻キャンパス (建物・部屋は決定次第アナウンスします)

演者紹介



Michael R. Crusoe

所属: Common Workflow Language Project (Project lead), ELIXIR Germany (Community Officer)

Crusoe 氏は [Common Workflow Language](#) プロジェクトの共同設立者であり、プロジェクトリーダーを務めています。オープンサイエンス・ワークスタイル支持者であり、[Software Carpentry](#) インストラクター、[Debian バイオメディカルチーム](#)の開発者としても活動しています。[ELIXIRオランダ](#)と[ELIXIRドイツ](#)のメンバー、[BioCompute Object](#) プロジェクトのコントリビューターであり、[ResearchObject.org](#) 標準のプロモーターでもあります。(本人 [ORCID](#) より)

主催・世話役

千葉大学 国際高騰研究基幹 (IAAR) / 大学院医学院 AI医学 大田達郎 (tazro.ohata at chiba-u.jp)